

## 【金沢区】令和 4 年第 3 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 4 年 9 月 2 日 15 時 00 分 ～ 16 時 20 分
場 所	金沢区役所 5 階 1 号会議室
出席者	<p>【議員：5名】黒川 勝 議員（座長）、 佐久間 衛 議員、高橋 のりみ 議員、 竹野内 猛 議員、谷田部 孝一 議員</p> <p>【金沢区：30名】永井 京子 区長、小林 悦夫 副区長、 船山 和志 福祉保健センター長、 飯田 晃 福祉保健センター担当部長、 松寄 尚紀 金沢土木事務所長、 和知 治 金沢消防署長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和 3 年度 個性ある区づくり推進費 決算状況について</p> <p>2 令和 4 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況について</p> <p>3 令和 5 年度 金沢区予算編成の考え方について</p> <p>4 その他</p>
発言の旨	<p>1 令和 3 年度 個性ある区づくり推進費 決算状況について</p> <p>2 令和 4 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況について</p> <p>竹野内議員：地域防災拠点の運営強化について、私は地元の自治会防災担当として地域防災拠点の運営、訓練に関する話し合いなどに参加している。区役所からは担当の職員が参加し、助言やサポートを行っている様子を見ており、また、区内各地の防災拠点訓練なども見学している。コロナ感染流行の長期化に加え、地域の担当者の高齢化が目立っており、訓練の企画や運営に支障があるところも多いという感想を持っている。先ほどの説明の中で備蓄の新たな資機材の配備とあったが、資機材の配備だけでなく訓練のパッケージ化といった、より具体的な提案、提示型の示し方をすることも地域防災拠点の運営の軽減化やサポートに繋がるものではないかと思う。この点について見解を伺いたい。</p>

**姫浦総務課長**：コロナ禍の長期化や高齢化、また、地域によっては頻繁な運営委員交代などにより、一部の防災拠点では訓練が難しいという状況は認識している。今年度からは、各拠点で実施された訓練内容や取組の工夫を互いに共有するためのブロック連絡会や、特徴的な訓練をやっているところの見学会を実施する。今後も区役所職員である参与や総務課防災担当等を通じて、各拠点の状況に合わせた訓練内容をご提案するなど、より丁寧な対応をしていく。

**竹野内議員**：金沢区では昨年度全世帯に浸水ハザードマップを配布した。一人でも多くの区民の皆様にマップを見てもらい、居住地域の危険性を知り、いざという時の行動をイメージするということまで活用してもらうために、更なる啓発が重要だと考える。そこで、浸水ハザードマップの活用、啓発、更なる取組の充実について伺いたい。

**姫浦総務課長**：ハザードマップの見方やマイタイムラインについて、広報よこはま金沢区版を活用した啓発をしている。また、浸水想定区域の自治会町内会や団体を中心に出席講座を行っている。より多くの方にハザードマップを活用していただけるよう、区役所や地域の方々が集まる機会を捉えて啓発していく。

**竹野内議員**：子育て支援拠点の運営支援、養育者のための相談支援など、育児不安を解消するための取組について、多くの方が利用している印象を持ったが、実施している区側として事業の評価はいかがか。

**藤浪こども家庭支援課長**：子育て応援事業は、情報発信や地域のつながりを深める取組と個々の養育者が抱える個別の課題に丁寧に対応する取組等を進めることで、金沢区の子供達の健やかな育ちを支えていく事業となっている。コロナ禍で子育てに対する不安が強まる中、養育者が孤立感を強めることの無いよう、配信型の講座や個別カウンセリングへつなげていくなどの取組を行っている。参加した方からは、参加して良かった、話を聞いてもらえてほっとした、等のお声をいただいております、養育者の安心感につながり、金沢区子育て支援の協働の指針とされる、子育てしやすいまちづくりの推進に寄与するものと考えている。

**竹野内議員**：引き続き多くの子育て中の皆様にご利用いただけるよう工夫と広報をお願いしたい。

次に、親子の居場所事業について、ジュピのえんがわなどが、地域に密着した親子の居場所、子育ての拠点として大切な役割を果たしている、子供達、親御さん達の双方からよく利用されていると感じている。こうした居場所が維持されていくことが大事だと感じており、区の支援を継続してもらいたい、いかがか。また、今後に向けての課題感なども伺いたい。

**藤浪こども家庭支援課長**：親子の居場所事業は地域で活動している方から希望をいただいた場所に子育て応援リーダー等のスタッフを派遣し、子育て支援の場づくりを行っている事業である。利用者からの相談にも対応できている、安心して参加できるといった意見をいただいている。課題としては、自分の地域でもお願いしたいという声を多くいただいている、順番に調整している状況である。今後地域の希望に十分応えられるよう調整し、地域の取組の定着に向け、継続していきたい。

**竹野内議員**：マイナンバーカードについて、直近の金沢区民のカードの取得率はどのくらいか。

**小池戸籍課長**：金沢区民のマイナンバーカードの取得率は、令和4年の7月末現在で52.1%。

**竹野内議員**：政府が実施している最大2万円分のポイントが付与されるマイナポイントの事業は、9月末までにマイナンバーカード作成を申請した方が対象となっている。もう1か月切っているが、より多くの方にご利用いただけるよう、最後まで力を尽くしてもらいたい。

**高橋議員**：金沢防災“えん”づくり事業について、横浜防災ライセンスの金沢区代表の方とお会いし、地域防災拠点の話をしていたところ、災害時下水直結式仮設トイレの貯留弁について、最近のものだと、弁を開ける工具がついているが、10年くらい前のものだと、工具を別に用意しなければならない、その工具が約4万円と高価で入手が大変という話を聞いた。このような課題がある拠点について、支援をお願いしたい。

**姫浦総務課長**：防災活動に取り組んでいただく際に経費面で課題がある場合、地域防災拠点では助成金を活用いただくことが可能である。また、自治会、町内会の場合には、町の防災組織活動補助金に加え、今年度からは金沢防災えんづくり補助金が利用できる。上限が15万円、3分の2補助となっているので、活用いただきたい。

**高橋議員**：瀬戸町内会の幹事会で、地震の時の避難場所と、風水害の時の避難場所が異なることについて、役員などは分かっているが、それ以外の方は理解が足りていないのではないかという話があった。その点を周知していく必要がある。また、前回大雨の時に、六浦地区センターと大道小学校と関東学院、3つの避難所が開設したのを実際に見学したが、避難者は避難所に行くに必要なものが揃っていると思っており、避難所へ行って初めて食糧なども何もないということを知るとい状況があった。風水害の避難所には食糧等の準備は無いという点まで、しっかりと周知すべきではないかという意見があったので、共有させていただく。

**姫浦総務課長**：地震時の避難場所と風水害の避難場所が異なるという点は分かりづらいとお声をいただくこともある。広報よこはま等を使って啓発や周知はしているが、ハザードマップを配布する機会なども捉え、引き続き周知に努めたい。あわせて風水害時の避難場所に食糧を持参していただくことも周知していく。

**高橋議員**：シーサイドFMが近く開局するが、コロナ禍において、区民の方への情報提供の良い手段だと思う。

水害に関して、侍従川の川辺に、葦がかなり伸びていて、近辺の方々から増水時の心配の声を聞いている。去年も、あそこは県の管轄だが、しっかりと県と連携をとって伐採を早めにしてほしいという意見を述べた。一方で、自然を守るべきとのご意見もあり、環境も大事だとは思いますが、市民の財産や生命を守ることの方が優先順位は高いのではないかと思う。年に2回伐採をしているということだが、できたら大雨の前に、早めに伐採するよう県と連携を取ってほしい。

また、瀬戸町内会からの情報提供で、金沢八景駅前の警察官立寄所が整備され、いよいよ、朝夕、警察官が立つことになるが、警察によると、警察官立寄所を警察の交番だと思われる、困ることがある。あくまでも民間

の施設に警察官が立ち寄る施設だということをしっかり認識してほしいとのことなので、情報共有させていただく。

ログかなざわの跡地のことで、西柴地域ケアプラザとコミュニティハウスが開設する。それは良いことだと思うが、残地の土地利用について、地元の方から、ログかなざわが建っていた2階建ての建物の高さを限度とした跡地活用をしてほしいという要望書が区に対して提出されている。区としての考えを伺いたい。

**永井区長**：昨年1月20日に地元から要望書をいただいた。地域の皆様のご要望を踏まえ、景観や環境への配慮や、公共性を持った跡地利用について、庁内の関係局に働きかけていく。

**佐久間議員**：新型コロナ禍区民生活支援事業のICT活用講座について、高齢者及び民生委員向けの各種体験講座を開催との記載がある。2022年から2025年の横浜市中期計画でも、ICTを活用した自治会町内会等の運営支援の強化が施策として盛り込まれていて、今後ICTの活用は増えていくと思うが、最終的な目標を教えてください。

**平福祉保健課長**：コロナ禍により皆で集まって活動することが難しい中、オンラインの会議を開催するなど、ICTを活用することで活動を補完できると考えている。

**佐久間議員**：では、対外的というより、民生委員という組織内でのICT活用強化という意図で良いか。

**永井区長**：コロナ禍により制限されている民生委員活動を補完するという意図のほかに、デジタル化が進んでいく中で、ワクチン接種のネット予約など、高齢者も対応できた方が便利な場面は多々あると思うので、将来的には、高齢者も含め、誰でもICTを活用できるようになってほしいという意図がある。まずは支援者である民生委員にICTを身近に感じてもらい、高齢者を手伝えるようになってもらうことを目標として3年度のICT活用講座を実施した。

**黒川座長**：横浜市金沢産業振興センター及び横浜金沢ハイテクセンターに

ついて、経済局が今後の方向性についてサウンディング調査を行っているが、金沢区役所も地元の意向を把握したうえで局へ働きかけをしてもらいたい。金沢区臨海部の工業地帯中心部なので、一般民間企業に売却されるというのは、地元の意向とは違うのではないか。横浜市金沢産業振興センターの設立時は、LINKAIの関係者が相当額の協賛金を入れている。そういった方達の思いを無下にするのはいかがかと思う。地元の皆さんの意見を聞いて、地元が中心になった事業者による運営ができれば一番良いのではないか。意見があれば伺いたい。

**米山区政推進課長：**横浜市金沢産業振興センター及び横浜金沢ハイテクセンターについては、建設当初から地域の方達と関わりが深く、経緯も含めて話は伺っている。地元の意向を確認しながら検討を進めていくよう、経済局に伝えてまいりたい。

**黒川座長：**このエリアにあるホテルやグラウンド等は、地元にとって半ば公共的なインフラだと思う。特にテクノタワーホテルは、磯子区のプリンスホテルが無くなって以降は、横浜市南部唯一の大規模ホテルである。大勢が集まる会合やパーティーを開催できるホテルが近隣に無くなれば皆が困ると思うので、テクノタワーホテルの存続がどうしても難しい場合には、どこかに別のホテルを整備する等の対応が必要ではないか。地元と情報交換をして、この点を経済局に伝えてもらいたい。先日も地元の方から、横浜市立大学を誘致したらどうかという話を聞いた。地域の企業と大学との連携の場という意味で面白い視点だと思う。横浜市立大学を誘致して全て解決というのは難しいかもしれないが、例えば横浜金沢ハイテクセンタービルのいくつかのフロアを学生達のインキュベーション施設にして、事業をスタートアップしようという人達に安く貸し出せるスペースとする等、いろいろとできることはあるのではないか。その要となるのは、地域の、特に若手の経営者だと思うので、よく意見をきいて経済局に伝えてもらいたい。開発事業者が決まった際にも、付帯条件のようなものはつけられると思うので、そのようなことも含めて経済局と連携を図ってほしい。

### 3 令和5年度 金沢区予算編成の考え方について

**黒川座長：**金沢区の最大の課題は人口減少だと思う。並木三丁目の三菱重

工社宅跡地が開発されるが、並木地区での共同住宅の大規模な建替えとしては、おそらく最初の事例になると思う。その建替えにあたって、若い世代の人達に入居してもらうには、手頃な値段でなるべく広い面積をとり、金沢区を選んでもらうことが大事になる。例えば、地元で働いている人がこの住宅を買う場合に割引する制度を作る、代わりに容積率や建ぺい率の緩和を認めることにより企業の利益は確保する等の工夫があると、若い世代が引っ越してきやすいのではないか。建築局にそのような話をしても、民間の開発なので難しいという言い方をされるが、これから若い人達を呼び込むために、もっと行政として関わり、今後このエリアで発生する共同住宅の建て替えのためにも良い事例を作ってもらいたいと思うが、考えを区長に伺いたい。

**永井区長：**横浜市都市計画マスタープランの金沢区プランでは、並木の中高層住宅では建物の更新時に地域課題の解決に資する機能の導入を誘導する、と書かれている。今回の並木三丁目の三菱重工社宅跡地の再整備については、金沢区としても地域の活性化につながるよう、整備事業者や関係局と一緒に暮らしやすいまちづくりとなるように働きかけをしていきたいと考える。事業者へのインセンティブという点では、環境設計制度が使えるのではないかと思うので、今後計画が出てくる中で、区としても建築局や都市整備局と一緒に働きかけをしていきたい。

**高橋議員：**基地対策特別委員会に関連して、南部市場横の返還された荷上場と物揚場の話があった。南部市場と一体になると良い施設になるのではないかと考えているが、局からは、まだ国の土地であり、護岸の整備ができないから難しいと言われる。当該地を活用できるように区役所からも、局や国に対して要望してほしい。

また、歩道橋についての陳情がよく寄せられる。塗装がはがれて、穴まで開いているような歩道橋もあり、ひどい状況なので、この点も改善されるよう国に要望してほしい。

先日、六浦小学校で、都市計画道路の横浜逗子線の地元向け説明会があった。前向きな議論があり、良い説明会だったと思う。朝比奈インターの直進化については、地元の反対の声があるため、迂回路として都市計画道路ができるということだと思うが、六浦地域だけが負担を強いられている。六浦の方達は、今後 10 年かけて工事が行われ、特に六浦小学校の裏の工

事なので、子供達にも迷惑をかけるが、前向きに受けてくれている。朝比奈インターの直進化に関しては、六浦地域の皆さんに負担をかけていることをしっかりと伝えて、区全体でまちづくりを推進するよう訴えてほしい。

**黒川座長**：富岡倉庫地区とそれに隣接する国家公務員住宅について、富岡倉庫地区については、研究開発の拠点という計画があるが進んでいないし、隣接する国家公務員住宅はゴーストタウンのようになって10年くらい経つ。南部市場の駅から近く立地が良いので、この2つについて一体的に開発を考えると良いのではと議会で何回か質問しているが、金沢区からも、金沢区の人口減少に歯止めをかけるという意味でも、声をあげてほしいと思っている。区長からコメントがあればいただきたい。

**永井区長**：区としても人口減少に歯止めをかけたいという願いがあるので、関係局に伝えていきたい。

#### 4 その他

**高橋議員**：消防の救急件数について、金沢区の新型コロナウイルスに関する出動要請やそれに対する対応状況を教えてほしい。

**和知金沢消防署長**：金沢区のみでの救急搬送状況に関しては詳細な分析はできていないが、7月中旬以降、市内の救急出動件数が過去例を見ないくらい多くなった。8月初旬頃までかなりひっ迫した状況が続いたが、その後は落ち着きつつあり、8月下旬以降、救急件数は落ち着いている。救急出動件数の内訳としては、やはり37℃以上の発熱症状のある方と、救急隊が現場でコロナ陽性であるということ把握できた方が要請の半分程度という非常にひっ迫した状況だった。その後徐々に熱発、コロナ陽性の方の割合が減少した。市内全体の救急出動件数自体も、8月初旬まで900件前後だった状況が、8月下旬からは600件程度の状況が続いている。新型コロナウイルスによる救急搬送自体も、収束とまで言えないが、一時期よりは減少の傾向と言える。ひっ迫した状況だった時には、救急隊が署に待機している時間帯があまりなく、ほとんど出動しっぱなしという状況が続いていた。最近は署に待機している時間も多くなってきているなど、感覚的

にも落ち着いてきたと感じる。

**高橋議員**：消防隊の方も、職員の方も昨年に続き本当に大変だと思う。引き続き対応をよろしくお願いしたい。

**黒川座長**：新型コロナウイルスワクチン接種のために、小児科が混雑して困っているという話を聞いた。通常の診察も行いながら、新型コロナウイルスワクチン接種も行わなければならない。小児科は大人が付き添ってくるので、待合所も混雑し、各小児科ではワクチン接種を多くの件数は受け付けられない状況になっている。12歳以上としてピアレ横浜の集団接種会場があるが、集団接種をしていない曜日もあるので、この曜日を活用して、子供用の集団接種会場として使えば、新型コロナウイルスワクチン接種を求める子供と、通常の診療が必要な子供に分けられるので、効率的ではないかと言われたが、センター長は何か把握しているか。

**船山福祉保健センター長**：新型コロナウイルスワクチン接種の全体方針は健康福祉局健康安全課のワクチン担当が決定しているが、特に子供に関しては、難しい点がある。12歳以上の方については集団接種会場を設けて数を打つというのも大切だが、現在はまだ子供の新型コロナウイルスワクチン接種は努力義務ではなく、特に接種をしなければならないというプレッシャーになるようなことがないよう十分に注意する必要がある。このため、子供については、集団接種はそぐわないのではないかと議論が最初にあり、かかりつけ医が個別に診察して、副反応等の話もしたうえで他の予防接種と同様に個別接種を進めてきた経緯がある。新型コロナウイルス患者が増加し、小児科のひっ迫は当然あると思うし、数多く接種するという効率性から考えると集団接種は選択肢の一つとして重要であると思うので、健康福祉局健康安全課に伝えていきたい。

**黒川座長**：現在、感染者数は減少しつつあるので、時間が解決するかもしれないが、小児科がひっ迫している中、集団接種等の方法ですぐに解決できるのであれば、対応すると良いのではないかと思う。小児科の先生達からも話を聞いて状況把握をしてほしい。

三師会館及び休日急患診療所の建替えの調整状況はどうなっているのか、現状を知りたい。

	<p><b>平福祉保健課長</b>：三師会館及び休日急患診療所の建替えについては、令和6年度のしゅん工を目指して、金沢区三師会が計画を進めている。区役所の公用車駐車場敷地を整備候補地として検討したこともあるが、現在は別の場所での整備を検討なさっており、現敷地での建替えは地下に貯水タンクがあるため、同敷地内に仮設診療所の建物を建設することが難しいと聞いている。</p> <p><b>黒川座長</b>：三師会館や休日急患診療所の再整備は、18区で準備ができたところから順次行っていると聞くので、調整がつかず次に回ると、今度はいつ予算が確保できるか分からないということにならないかと心配している。よく調整をしてもらい、早く設置できるように応援してほしい。</p>
備 考	